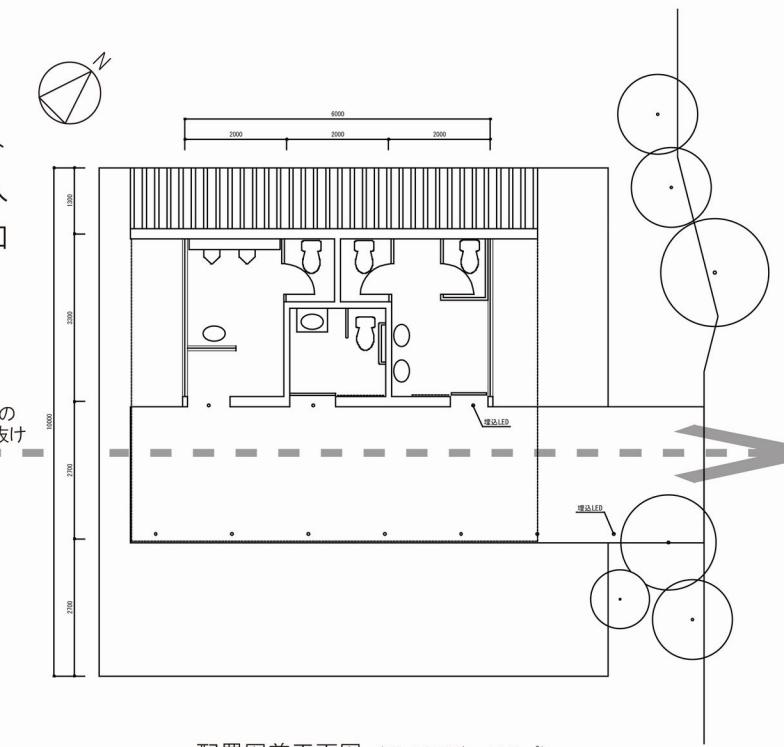
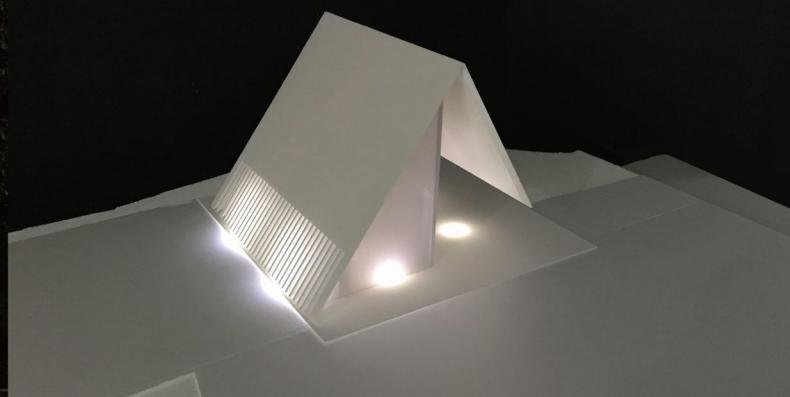


景観を愉しむトイレ



景観を愉しむ魅力

このトイレのある瀬戸内海と尾道を見渡す敷地の魅力は、大変素晴らしい景観にあります。これまで見捨てられていた、この潜在的な魅力が再発見できるトイレを考えました。

道路からトイレの入り口に至る、切妻の大屋根を通して、その向こうに広がる素晴らしい景観を愉しみながらアプローチできるトイレです。その先に見えるのは絶景だけでなく、バードウォッチングなど新しい発見があるかもしれません。

ローコストで魅力的なデザイン

6m × 3.3m (20 m²) のシンプルな矩形の平面とシンプルな切妻屋根の組み合わせは、壁量が少なく、大変ローコストでありながら、モダンなデザインは、周辺の景観に馴染んだ魅力的なトイレとなっています。

おもてなしのデザイン

手と手を合わせた合掌造のような大屋根の空間は、来訪者を迎える、おもてなしのデザインです。

安心して心地よく使える魅力

切妻屋根の片側は下部が開放された明るい空間で、周りからトイレの様子がうかがえ、防犯的にも視線が通り、誰もが安心して心地よく使えるトイレです。足元から光が入る明るいトイレです。

夜には、この大屋根の下部からもれる光が周囲の外灯となり、訪れる人々に安心感を与えることでしょう。

夜の真っ暗な駐車場は不安なものです。駐車場の入口から見えるトイレの明かりは、安心感を与えます。



屋根の構造

長さ約 6m の片持ち形式の庇は、RC 構造のスラブ形式とし、厚さは 250mm 厚、主筋は D19@200 程度とすることで強度は確保できます。

一方、変形について検討した結果、クリープによる変形が大きいことから、補強として Φ45mm 程度の丸鋼を変形止めとして水平に 2 本程度設けることで、変形においても規定を満たしました。

これにより、RC 構造でながら大きな片持ち形式の軽快な庇を実現できます。

ルーバーの役割

ルーバーを通して自然の空気が入り、トイレの臭気を外へ逃がすことができる、自然換気の役割を果たします。

